

Amo 2003

2.2.10 外B

メキシコ PRI 党勢衰退の一途

党首選控え、裏金疑惑で打撃

【メキシコ市9日】大屋 惑は、先の大統領選で、敗 敷英樹】二〇〇〇年まで七 退したPRIのラバステイ 十一年間メキシコを支配し 夕候補陣営がメキシコ石油 た巨大政党・制度的革命党 公社「ペメックス」から十 (PRI)の党勢衰退が目 一億(約百六十億円)の 立ってきた。国民や財界の 裏金を受け取っていたとい うもの。国民行動党(PAN)のフォックス大統領は 末の党首選で党再建を目指 疑惑を徹底追及する構え しているが、その矢先に公 だ。選挙を巡る不正はPRI 金流用疑惑が浮上り、旧態 I政権下で頻繁にあった が依然の体質をさらけ出し が、やむを得ずなされてきた。 先月になって発覚した疑 疑惑が公に追及されること

自体、PRI凋落を如実 示している。 PRIは首都や各州の首 長選で、昨夏のタバスコ州 知事選に辛勝するまで七連 敗を喫した。今や全三十一 州のうち十三州と首都の首 長はPRI以外が占める。 国会でもセディヨ前政権 時に六割を占めたPRI議 員は、上院(定数百二十八) で六十人、下院(同五百) で二百十人と過半数割れじ た。かつて一枚岩を誇った 党内は四派に分裂し、離党 者も相次いでいる。 財界でも、銀行、運輸、 流通などの有力企業は、軒 並みフォックス支持にくら 替えし、PRIの支援集会 に名を連ねることもなくな った。メキシコ市在住の政 治学者ホセ・ガンダリジャ 氏は「政治献金は今、PRI からフォックス政権に流

れてい」と話す。 PRIは前身の国民革命 党が発足した一九二九年以 来、企業家、労働者、農民、 官僚などあらゆる階層を糾 合することによって、長期 の安定政権を維持してき た。だが、一党支配下で貧 富の差が拡大、汚職や経済 不安、治安悪化などの問題 が相次ぎ、国民の不満が高 まった。その結果、二〇〇 〇年の歴史的な政権交代を 招いた。

メキシコ市のメキシコ大 学院大学のロレンソ・メイ ヤ教授(歴史学)は「PRI は最初から主義や思想が なく、権力と一体化するだ けの党。大統領の鶴の一声 ですべてが決まっていたの で、大統領を失うと同時に 方向性も見失った」と指摘 する。野党経験のないPRI は、国会でも指導力を発 揮できない。

PRIが党再生を目指す 今月二十四日の党首選で は、ロベルト・マドラソ元 タバスコ州知事の当選が有 力視されているが、同氏は 「恐竜」と呼ばれる守旧派 の代表格。対立候補のペア トリス・パレデス国会議長 はラバステイ対選対で経理 を担当しており、ペメック ス疑惑の渦中にある。その ため、党首選にはすべての 有権者が参加出来るが、関 心は今一つだ。

Este es el primer artículo de Lorenzo Meyer